



後期児童会役員のみなさん がんばってください！

9月26日（金）、後期児童会役員選挙が行われ、新しい役員が決まりました。信任投票という形にはなりましたが、これから半年間、下田小学校がもっと良い学校となるために手本となって働くこととなります。公約違反とならぬよう（笑）粘り強く頑張ってください。



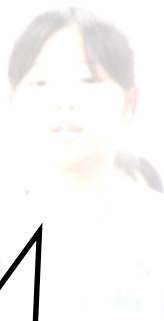
会長 さあやさん

「あ・い・う・え・お」の中で特に「い」の「いい返事」ができる下田小になるようがんばりたい。



副会長 ここなさん

「あ・い・う・え・お」を大切にし、みんなが元気な声であいさつができるようがんばりたい。



副会長 のあさん

みんな大きな声であいさつができる下田小学校にしたい。



書記 しょうまさん

①いじめのない学校
②みんなが楽しいと思える学校
③いつも笑顔でニコニコしている学校 をつくりたい

起震車体験をしました

今年も県トラック協会の協力を得、起震車体験を保育所と一緒に行いました。低学年は震度6弱、中学年以上は震度7の揺れの体験。今年は地域の方もぜひ体験させてほしいということで、中に入れてもらい、一緒にやりました。激しく揺れるという前提のもとで私たちは体験していますが、果たして本当にこのような揺れが来たとき、平常心を保って対処できるか毎年不安に思いながら受けています。また、お家での家具の固定など、地震対策を忘れないように、と担当の方もおっしゃっていました。南海トラフの起こる確率も以前より幅ができたとはいえ、約100年～150年周期で発生している地震には違いありません。できることはしっかりして大切な命を守りたいものです。



最後のうなぎ放流



10月3日（金）、鍋島河口で恒例のうなぎの放流体験を行いました。保護者の方にも参加していただき、雨の合間をぬっての体験、袋から約700匹のうなぎを一齐に放流、河辺に溜まったうなぎを竹の棒で沖に促し、最後は「元気でね～」と送り出しました。長い長い旅を経てまた新たな命で四万十川に帰ってきてほしいですね。

残念ながら今回でこの体験も一旦終わりということで、コロナ明けから3年間、自然保護の観点からもとてもよい体験をさせていただきました。下田漁協の沖さんはじめ関係者の皆様、本当にありがとうございました。